

1 茅 孝 之 議員

1. 本町の歴史ある農産物を次世代へ継承していくための支援策について

(1) 後継者を育成・支援していく取り組みに係る町の考えについて

【要望・提案】

- 半原わさびを特産品としてシティセールスで活用することを強く要望する。

2. 町の文化の継承と教育について

(1) 町内の全小中学校の卒業証書に和紙を使用する考えについて

(2) 児童の心の教育に対する考えについて

【要望・提案】

- 文化と歴史の継承として、海底和紙で作成したハガキを作成し、親へ感謝を伝える手紙を書くことは、心の教育としてその後の人生に必要なことであるので、是非進めていただきたい。
- 海底和紙を卒業証書として活用するために、全小中学校が実施している愛川ふれあいの村でのキャンプにおけるカリキュラムの1つとして、和紙づくり体験の実現に向けて取り組んでもらいたい。
- 町に多大な功績を残した方々を称える11月の町表彰の表彰状に海底和紙を使用し、受章者への敬意を表すとともに、文化の継承をしていただきたい。

2 岸 上 敦 子 議員

1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策などの強化について

(1) 県が打ち出した「感染防止対策取組書」に対する県との連携の内容について

(2) 給付金などの手続きに必要な各種証明書の手数料を免除する考えについて

【要望・提案】

- 取組書について子どもたちにも周知することで、新しい生活様式の適切な実践を図れるよう取り組んでほしい。
- 取組書を掲示している店舗等には、町独自のステッカーを発行したり、HPや愛川町チャンネルで事業所の紹介をするなどの取り組みについて検討を要望する。
- 給付金などの手続きに必要な各種証明書の手数料の免除について検討を進めていただきたい。

2. 一人ひとりに応じた教育の充実について

(1) 本町における児童・生徒への相談体制と今後の取り組みについて

(2) 「スクールロイヤー」を配置する考えについて

【要望・提案】

- 特になし

3 阿 部 隆 之 議員

1. 関係人口創出事業について

- (1) 関係人口創出に繋げるための施策について
- (2) 大学や教育機関との今後の連携について

【要望・提案】

- CKO（チーフ関係人口オフィサー）を中心として、水源地なども含めた総合的な事業推進を行うことで、関係人口を創出する仕組みづくりを提案する。
- コロナの影響による財政面も考慮し、クラウドファンディングを是非検討していただきたい。
- 神奈川工科大学との連携では、民間企業を巻き込みながら、また、CKOの仕組みを活用して効果的な運用を図っていただきたい。

4 小 島 総一郎 議員

1. 町総合計画について

- (1) 新総合計画策定にあたって、計画期間、まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連を併せた町長の基本的な考え方について
- (2) 都市計画と住環境整備の計画事業として、地籍調査事業以外の取組状況について
- (3) 平山下平線整備事業の取組状況及び町内循環バスの新たな運行ルートの再編と料金改定の検討状況について
- (4) 観光・産業連携拠点づくり事業の取組状況について

【要望・提案】

- 今後3カ年の策定期間中に町長選挙もあることから、次期計画の期間については、熟慮していただきたい。
- 最近は多くの計画ものが増えているので、統合できるものは統合した方が経費も軽減できるし、いい機会なので、総合戦略と統合すべきと考える。
- 一つ井箕輪沿線地権者の理解を得るには示せる「絵」も必要。基盤整備の考え方をきちんと示すべき。
- 地籍調査は補助金の関係もあるだろうが、中津、半原地区なども並行して行ってほしい。
- 平山下平線整備事業の町民への情報開示をもっとしていただきたい。
- 循環バスの料金改定は住民によく説明をし、ニーズに見合った持続的な運営が図られるよう取り組んでほしい。
- 拠点づくりはできるだけ皆さんの意見を反映して取り組んでもらいたい。
- 中津川との一体的利用について、水源地川側の町道は他へ付け替えて廃止すれば、階段式の整備ができるので、検討をしていただきたい。

5 渡 辺 基 議員

1. 教育行政について

- (1) 中学校給食における配膳室から教室までの生徒の動線について
- (2) 新中学校給食における配膳員の配置について
- (3) 新中学校給食における三密の防ぎ方について
- (4) 新中学校給食のリハーサルについて
- (5) 中学校給食費の公会計化について
- (6) 新型コロナ禍における教師の補助員体制について
- (7) 特別教室へのエアコンの設置について
- (8) 放課後児童クラブの新型コロナ対策について

【要望・提案】

- 教職員の多忙化解消のためのサポートを引き続きお願いしたい。
- 特別教室へのエアコンの早期設置を要望する。

2. 危機管理体制について

- (1) 昨年の台風19号の88項目の課題の進捗状況について

【要望・提案】

- 備蓄品の保管スペースとして、コンテナ倉庫の整備を要望する。

6 小 林 敬 子 議員

1. 少人数学級とICT教育について

- (1) 現在のパソコンの活用状況とタブレット導入による今後の財政的負担について
- (2) 20人前後の学級体制にする考えについて
- (3) Wi-Fi環境のない家庭へモバイルルーターの無償貸与や通信費の公費負担をする考えについて

【要望・提案】

- タブレットの更新に係る補助を国に働きかけてもらいたい。

2. 会計年度任用職員制度について

- (1) 給与や期末手当などについて
- (2) 休暇などの勤務条件について

【要望・提案】

- 特になし

7 井 出 一 己 議員

1. コロナ禍における避難所運営のあり方について

- (1) 避難所運営の現状と災害弱者等の避難の優先順位の考え方について
- (2) 「分散避難」の定着と分散避難者への災害物資の配布の考え方について
- (3) 発熱、咳等の症状が避難後に現れた避難者を病院へ移送することが困難な場合の対応について

【要望・提案】

- 備蓄品が現場に届くようにしっかりと対応していただきたい。
- しっかりとした訓練を含めて、持続可能な避難所運営が図られるよう要望する。

2. 交通環境の確保について

- (1) 愛川バスセンターから鉄道駅までのバス路線新設に係る実証運行の進捗状況について
- (2) 地域公共交通計画策定の考えについて

【要望・提案】

- 新たな交通手段、移動手段の確保を要望する。

8 鈴 木 信 一 議員

1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止策について

- (1) 緊急事態宣言解除後の取り組みについて
- (2) 本庁舎入口に体温検知カメラを導入する考えについて
- (3) 職員に対し定期的にPCR検査を実施する考えについて

【要望・提案】

- コロナ対策について、町ホームページを通じた情報提供は必要だが、高齢者が分かりやすい情報の提供方法を検討してもらいたい。
- 不特定多数が来庁する本庁舎における対策はやりすぎということはないので、体温検知カメラの設置を前向きに検討していただきたい。
- 今回のコロナを含め、突発的な災害等に適切に対応できるよう、人材確保と育成を図るよう強く要望する。

9 玉 利 優 議員

1. 共に生きる社会について

- (1) 本町が把握している精神障がい者の現状について
- (2) 本町が認識する精神障がい者への対応の課題について

【要望・提案】

- ボランティアや医療関係者に対して、より障がいが理解できる講演会の開催を要望する。

2. 中学校授業の数学について

- (1) 授業の役割について
- (2) 年間授業の計画について
- (3) 数学の授業の現状と課題について

【要望・提案】

- 特になし。

10 佐 藤 り え 議員

1. 「新しい生活様式」に向けた取り組みについて

- (1) 地方移住の支援や企業誘致をさらに促進し、誰もが住み続けられる町づくりに係る考えについて
- (2) 公民館等の予約システムを積極的に推進する考えについて
- (3) 高齢者などの要援護者に対する見守り等の支援体制と新しい取り組みについて

【要望・提案】

- コロナの影響により、地方移住への関心が高い今、空き家を活用した実効性のある施策を要望する。

2. コロナ禍における小中学校の具体的な対策について

- (1) 熱中症対策について
- (2) 「GIGAスクール構想」に伴う家庭での端末使用について
- (3) 「マルチメディアデイジー教科書」の導入について

【要望・提案】

- 特になし。

11 佐 藤 茂 議員

1. コロナ禍における町の商工業・観光施策について

- (1) 現状と今後について

【要望・提案】

- 特になし。

12 木 下 眞樹子 議員

1. 愛川聖苑の今後の在り方について

- (1) 利用状況について
- (2) 家族葬を行う小規模の式場を整備する考えについて
- (3) 葬儀のリモート配信ができる環境の整備について

【要望・提案】

- 特になし。

13 熊 坂 崇 徳 議員

1. コロナ禍における社会福祉について

- (1) 高齢者世帯への支援について
- (2) 障がいのある方が通所する施設への支援について

【要望・提案】

- いきいき100歳体操簡易版動画などについて、高齢者が町ホームページで容易に探すことができるよう配慮していただきたい。
- コロナを正しく恐れ、高齢者が健康を取り戻すための社会参加ができるよう、町としても検討していただきたい。

2. 愛川ブランドについて

- (1) 認定された商品の総評について
- (2) 第2期愛川ブランドに今後期待することについて

【要望・提案】

- ふるさと納税の獲得に向け、返礼品として活用していただきたい。